

第3号議案・22年度事業報告と23年度事業計画

- ・【アンテナの設置について】JR1YUX 局の解散に伴い JJ1YNA が本部統制局を引き受けることになりましたので、防災課の協力で消防指令センターの屋上にアンテナを常備することになり 7L3UQW 松尾さんのご協力を得まして無事に設置できました。

・平成22年度船橋市総合防災訓練

防災訓練説明会を8月8日飯山満公民館において実施しました。当日は、会員22名と防災課2名が参加しました。また、防災訓練当日の8月29日は本部統制局を含めて31局の参加と、反省会においては11名の参加がありました。

・平成22年度防災フェアふなばし

1月15日に船橋市中央公民館で開催しました。イベントとしては、JJ1YNA による公開運用と非常通信連絡会のPR。また、今回から運用機材はJJ1YNA の本部統制局の機材を使用して運用しました。途中から藤代市長が来られて記念撮影をしました。

・平成23年度事業計画

例年どおりに船橋市総合防災訓練と防災フェアに参加します。

防災訓練については、東日本大震災が起きたことにより、訓練方法など一部に変更の可能性があるので防災課と協議しながら変更することを考えています。

行事担当 JH1MQC 高城

機関紙

連絡会ニュースは次のように年4回発行しました。

52号 2010年6月 総会報告 53号 2010年10月 防災訓練報告

54号 2010年12月 技術講習会報告 55号 2011年3月 防災フェア報告と技術講習会報告

【広報活動】オンエア、ミーティングを通じて連絡事項の伝達、およびホームページへ連絡事項の掲載を事あるごとに依頼しました。(HP 管理者は山本さん)

事業計画

- ・ 機関紙は従来通り年4回発行の予定です。紙面の内容が行事報告のみとなっているため、高木さんにも協力して頂いていますが、以前に比べて報告内容や投稿記事が少なくなっています。行事を活発にして内容を充実させたいので皆様のご協力をお願いします。
- ・ ホームページは総会が終わり次第、随時更新の予定です。

広報担当 JS1IWA 吉野

以上で議事は終了し議案は全て承認されました。

記念撮影のあとに引き続いて連動して船橋市アマチュア無線クラブ定期総会に入りました。



2. 船橋市アマチュア無線クラブ 定期総会議事

第1号議案・規約改定について

船橋市アマチュア無線クラブ規約改訂の概要について説田会長より説明

- 1) 会の略称を変更→現行の「FAC」は英語スラング的に好ましくないため
- 2) JR1YUX の解散に伴い、非常時における本部統制局を JJ1YNA が担当することになったことに伴う変更
第4条→通信訓練、防災行事などを追加すると共に、「その他」条項を追加し、フレキシブルな対応に備えた。
- 3) 会員要件の変更
第5条（1項）→正会員にアマチュア無線技士資格を持つ船橋市役所職員を追加
これはYNAの非常運用時を想定したもの
第5条（3項）→賛助会員から団体の例を削除
- 4) 連絡会会員推薦基準を明確化⇒第6条
- 5) クラブへの入会・退会の手続きを明確化⇒第7条(入会)と第8条(退会)
- 6) クラブの「役員」呼称を「幹事」で統一⇒第10条
- 7) これまで慣例でされてきた幹事選出の手続きを明確化⇒第11条
- 8) 会長の任期について、現在の2期縛りを撤廃⇒第12条(2項)
- 9) 臨時総会についての規定を新設⇒第19条
- 10) その他、条文を整理し書式を統一

ここでパケットについての質問が出た。総会の決議事項ではないが、JJ1YNA 運用規定改訂の概要について説田会長より説明

①パケット通信は削除しました⇒現行 第10条

削除した理由は、常置場所の閉鎖に伴い運用が出来なくなり、設備を撤廃したため。

- ②非常時の本部統制局の運用について⇒第10条 第11条
- ③第14条の追加 ⇒ 災害時の運用について
- ④第16条をより具体化⇒ クラブ局の運用の範囲について

第2号議案・役員人事報告

JA6AZE 説田

退会幹事の報告 JA1VRZ 鈴木さんが退会されました。

第3号議案・平成22年度事業報告と平成23年度事業計画

・オンエア、ミーティング

7L1TTH 島村

運用回数124回 430MHz帯 84回 /145MHz帯 25回 /ロールコール 15回

延べ参加局 1329局 430MHz帯 884局 / 145MHz帯 240局 / ロールコール205局

上位局 3名 の紹介 1位 JG1KLL田中君 / 2位 JG1BXA田中さん / 3位 7L4WHI 諏佐さん

1位の田中君に説田会長より記念品が贈呈されました。



今年度の状況と課題

145MHz帯の運用は今後も継続して行きます
145.26MHzは一部混信があるので周波数を変更する可能性があります

参加者数を増やすための企画は皆様のお知恵をお借りしたいのでご協力をよろしく
お願いします。

・ネット、コントローラからのお願い

ネット、コントローラからオンエアミーティングです！との声が聞こえたら「チェックインだけでも良いので」ご参加ください。

JG1DVY 小池

・オンエア、ミーティングからの連絡事項

7L1TTH 島村

船橋市役所防災課では、平成23年度船橋市防災訓練に於いては、災害時の現状に即し、これまで各地区消防署に設置していた「地区本部」の運用はしない訓練内容で検討しています。これに伴い、当連絡会に於いても「地区統制本部」を運用せず、本部統制局と全避難所局が直接交信する方式の検討が必要となりました。

そのため、オンエア、ミーティングの中で本部統制局と各避難所・各局自宅との通信状況を確認する運用を試行したいと考えています。（7月の後半に実施しますので、詳細は別途連絡します。）

提案の概要

- 1) ネットコントロールを災害対策本部から行う
- 2) 各局は原則災害時に使用するハンディトランシーバーを利用する。外部アンテナは使用しても良い。
- 3) 原則として外部電源は使用しない
- 4) 各局の運用場所は、最寄の避難場所、公民館または自宅からとする。
- 5) 145MHz帯 435MHz帯共に実施する。

連絡会ニュースが届くころには、すでに実施済みとなっていますのでご了承願います。

移動運用

JH1GEN 高間

昨年度は何も出来なかった状況でした。今年は調整してご連絡します。

技術講習会

JJ1GRK 高木 (代理発表 JA6AZE)

講習会担当としては、昨年は「受信練習以外を網羅するCW講座」、「新ハムバンド・135kHz 帯入門」の2回の講習会を行いました。本年も2回程度の講習会を予定しています。

現在、「最後の真空管解説」、「最近の高級HF無線機講座」の2つを考えていますが、ほかにリクエストがありましたら、オンエア、ミーティングなどで御提案ください。また、こういう話をしたいという、講師の立候補も歓迎します。

クラブ局管理

JA1XQC 岩橋(代理発表 JA6AZE)

常置設置場所を岩橋さんの自宅から船橋市消防指令センターへ変更しました。

クラブ局の構成員については、連絡会については全会員を構成員とした。クラブ員については従事者免許番号を整理してクラブ構成員として追加したい。また、JARL登録クラブ局の更新をしました。

第4号議案・会計報告

JH1TVY 高橋

4月11日予定で会計を締めましたが、総会が遅れたので、日付を変えて再度締めなおしました。

この関係からJARL会費は今年度分は納めたことになっています。また、前期からの繰越金から残金はかなり減ってきました。会費は徴収していませんが、ご寄付は歓迎しますのでよろしく願います。

以上で議事は終了し議案は全て承認されました。

会員情報

新入会員のお知らせです。次のお方が入会を希望されました。ただいま事務局で受付中です。

7M1STI 村上 さん、 JF1UZH 片山 さん、 JI1NAL 石田 さん、 JK1SJC 森田 さん、

事務局からのお知らせ

☆ 局免許の更新情報です。ここ半年以内に無線局免許の有効期限が切れる局は次の通りです。

忘れないで手続きをお願いします。(平成23年7月末日現在)

・ 7L1TTH・JO1CIU・JF1ONQ・JN1TQJ・JN1XAB・JO1GLR
・ JA6AZE

☆更新済みではあるが免許状の写しが届いていない局

・ 7K4DIW・JS1SWW・JH1APY

☆免許状の有効期限がきれている局(未更新の局)

・ JN1KPB・JE1QFY

事務局担当者 防災課 鴻崎

★投稿記事です。

2011年7月7日 七夕です

7MHzの送信周波数を測定しました。

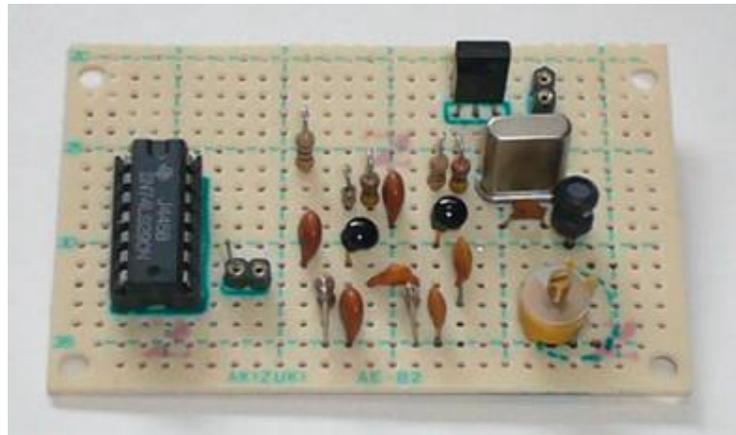
HFのリグで10MHzの標準電波らしい物（中華人民共和国標準時報局のBPMらしい）を受信していて周波数表示がずれているのが気になり7MHzでの自分の送信周波数を測定することにしました。

送信中の出力を周波数カウンタで測定すれば良いのですが、そのカウンタが自作品で周波数精度が当てにならないため、カウンタの調整から始めることになりました。手順は次のようにしました。

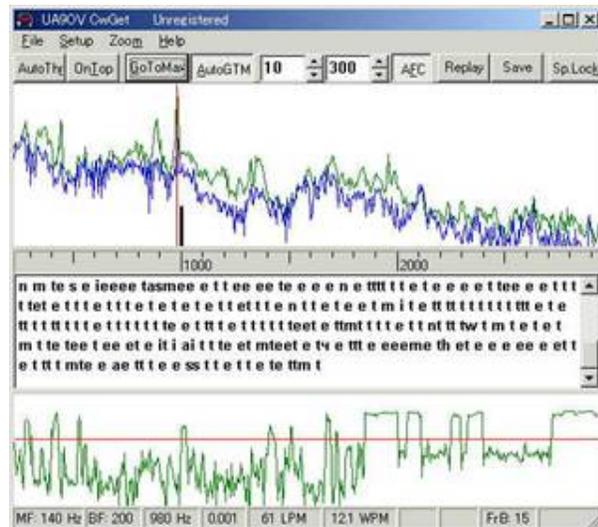
1. 周波数がはっきり判っている安定した発振器を作る。
2. 発振器の周波数をカウンタで測定し正しい表示になるようにカウンタのクロックを調整する。
3. リグの7MHzでの送信周波数を測定する。

まず発振器を作ります。「周波数がはっきり判っている」を実現するためにニッポン放送（1,242kHz）にビートを掛ける発振器にしました。

ニッポン放送を選んだのは、いつでも強い信号で受信できるAM放送の中で一番周波数が高いからです。「安定した」は水晶発振と決め、12.5MHzのクリスタルでVXOを作り0.6%低い1,242MHzを発振させてから、10分の1に分周しました。ラジオでニッポン放送を受信しながら発振器を動作させ、ビート音を聞きな



がらVXOのトリマを回して周波数を合わせました。ビート音を聞くと言ってもゼロビートだと分かりにくいので、わざと1,000Hzのビート音を発生させて1,243kHzの発振器に仕立てることにしました。1,000Hzのビート音を確認する方法がちよっと面倒でした。放送局ですからほとんど隙間無く誰かがしゃべっているか音楽が流れているのでカウンタでビート音を測定するのは期待出来ません。そこでCwGetと言うCWの解読ソフト（フリーウェア兼シェアウェア）に付いているスペクトル表示機能を使って見当を付けることにしました。このソフトには「AutoGoToMax」機能が付いて一番強いスペクトルの周波数を表示してくれるのでアナウンサーがしゃべっていてもビートの周波数を認識することができ発振周波数を希望の値に調整することが出来ました。少々残念なのは飛び飛びの周波数しか認識できない様で990Hz、1,007Hzなどと表示します。



次にこの発振器の出力を周波数カウンタに入力して表示を確かめました。1, 243, 000Hzのはずが82 Hzずれていたのクロック発振器を調整しました。カウンタが自作品である上にクロックの調整機能が不十分で手間がかかりました。クロック調整トリマの範囲では合わせる事が出来ず、クロック発信回路をあれこれ変更してようやく合わせました。



やっと周波数測定の準備が出来たのでHF機の7MHzバンドの下から上まで50kHz置きに送信周波数を測定してみましたら、+68Hzから+80Hzずれていると表示されました。



電波関係の法令（無線設備規則の別表第一号）によるとアマチュア局の周波数の許容偏差は百万分の500と決められているのに対し、80Hzの偏差は百万分の11程度です。7MHz帯で百万分の500と言うと3.5kHzですから、今時のデジタル周波数表示のメーカー製リグでこの許容範囲を越えるとは思えませんので、周波数測定を楽しんだと言うところでしょうか。

d e J E 1 F T N / 岡村

編集後記

・防災課のある建物(消防指令センター)の裏に玉川旅館という船橋市ではもっとも格式と伝統をもつ旅館があります。創業は1920年(大正10年)の純和風旅館で太宰治が宿って小説を書いたゆかりの宿だそうです。また、建物は創業当時からのものであり、国の登録有形文化財に登録されているとのことです。

私が船橋へ転居してきた時は、この旅館の周囲には緑地があった記憶があります。と言っても連絡会ニュースが創刊されていたころです。先日の総会のとくに足を運んだついでに写真撮影をしてきましたが、今は、緑地はなく真後ろに高層マンションがあり、有形文化財よりマンションのほうが際立って目立っていますが、身近にこのような物があるということを忘れていました。建物に近寄って外から眺めますと、明かりが見えたので営業はしているようでした。毎年、防災課へ行くのになぜもっと早く気がつかなかったのかと悔やまれます。

・ J E 1 F T N 岡村さんから製作記事の投稿原稿が届きました。ありがとうございます。また、今後ともご協力よろしくお願いします。

発行 船橋市アマチュア無線非常通信連絡会 船橋市アマチュア無線クラブ 担当 JS1IWA